



あの日から2年を迎えた3月11日、日本中で、そして世界の各地で、東日本大震災で犠牲になられた方々、大切な人を亡くされた方々に心を寄せ、被災地の復興、再生を心から願い、人々が祈りを捧げました。今この時も、それぞれの悲しみを胸に歩んでいらっしゃる被災地の方々を思い、私たちも『忘れない』という決意を新たに「ひとりの小さな手 通信 11号」をお届けします。

報道に寄るところでは、東日本大震災における犠牲者、行方不明者、震災関連死亡者を合わせると、2万853名にのぼるとのこと、一人ひとりの命の重さとその命に関わるあまりに多くの方々の悲しみの深さを思うと、何もことばにすることができません。避難生活を続けていらっしゃる方も31万5196名、原発事故の影響によって、この先の生活の基盤をどこに置くのかを決めることのできない多くの方々もいらっしゃいます。原発事故で避難していらっしゃる方が、「セシウムの半減期まで30年だと言われているのに、まだ2年しか経っていない」とおっしゃっていました。被災された方々の悲しみや困難は本当にさまざまであり、時の経過とともによい方向に向かうことばかりではなく、時が経てば経つほど辛さが増すとおっしゃる方がたくさんいらっしゃいます。

遠く離れた地から、私たちにできるのは本当に限られたことですが、いつも被災地に心を寄せて祈り、どんなに小さなことでも自分にできる支援を続け、そして、自分自身が毎日大切に生きていきたいと思えます。自分の周囲にいる人たちが、自分の周りにあるすべてのものがどれほどかけがえのないものであるかをいつも忘れず、当たり前ではない大切な日々感謝し、今日を一生懸命生きること、それが、今の私たちにできる何よりのことであると思えます。

(根岸)

### 「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど

それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる

ひとりの小さな目 何も見えないけど

それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える

ひとりの小さな声 何も言えないけど

それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える

ひとりで歩く道 遠くてつらいけど

それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる

ひとりの人間は とても弱いけど

それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

## ◇報告

3月10日(日)の午後、第8回チャリティーコンサートが開かれ、多くの方にご来場いただきました。礼拝堂に集った皆が東日本大震災から2年を迎える被災地に思いを寄せ、共に祈りを捧げることができましたことに心より感謝です。

ピアノ、うた、ヴァイオリンの素敵な音楽に加え、ユーモラスな出演者の表情や映像など、笑顔あふれる楽しいコンサートでした。

ケーキバザーや手作り石けんの販売も好評で、チケット代、義援金、売上げを合わせまして、たくさんの方の支援金を被災地に送ることができましたことを報告させていただきます。

ありがとうございました。

チケット代	92,500円	(一部出演者の交通費へ)
義援金	25,600円	
手作り石けん	13,400円	
ケーキバザー	35,400円	

## ◇支援物資の発送、支援金の送付

- 3/11 (月) 陸前高田 ほっとカフェへ  
手作りマドレーヌ 50個  
手作りデコパージュ石けん  
30,000円
- 3/13 (水)・福島県南相馬  
原町教会、原町聖愛保育園へ  
80,000円  
・仙台へ  
20,000円



発行 2013年3月14日

ひとりの小さな手プロジェクト

事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地

野毛山キリストの教会

野毛山幼稚園

根岸ひろみ 内田幸子 諏訪姿貴